

【事業の目的】

心身の発達が気になるお子さんを対象として、療育支援・家庭支援を行います。子供たちの個性を大切にしながら、持っている力を発揮できるような支援を行っています。

【定員】 1日10名

【対象児童】 通所受給者証のある未就学児

【サービスの提供時間】 平日 9時～12時(療育内容により時間が決まります)

※土曜日・日曜日・祝日・お盆(8/13～15)・年末年始(12/29～1/3) 休み

【利用条件】 通所受給者証が必要(申請はお住いの市役所まで)

※通所受給者証発行のためには、相談支援専門員による「支援利用計画」が必要です。申請の際に市町村役場にて詳しくお聞きください。

【利用料金】 満3歳になって初めての4月1日から3年間は無償です。それ以外は児童福祉法に基づく、利用料金の10%が負担金額になります。

また、月の利用料金負担の上限額が所得等によって定められているために負担額が軽減されます。

※90%は受給者証を発行する自治体負担になります。

※契約時に詳しく説明致します。

【職員配置】 保育士・児童指導員・音楽療法士

【プログラム】

(例)個別療育

9:00～ 来所

9:15～10:00 運動療法・机上課題・音楽療法など

10:30～ 自由遊び・保護者面談

※運動療法：運動により、脳と身体(筋肉)をスムーズに動かせるようになります。また、瞬発力やバランスの保持などを身につけ全身を動かすことで、様々な感覚が正しく機能するよう取り組みます。

(例)集団療育

9:00～ 来所

9:15～ 始まりの会

療育活動(SST・運動・音楽療法・制作活動など)
自由遊び

10:30～ おわりの会

※SST(ソーシャルスキルトレーニング)：お友達と関わる中で、適切なコミュニケーションや良い関係を作って行けるような方法を身につけるための療育です。

「なでしこ」の由来

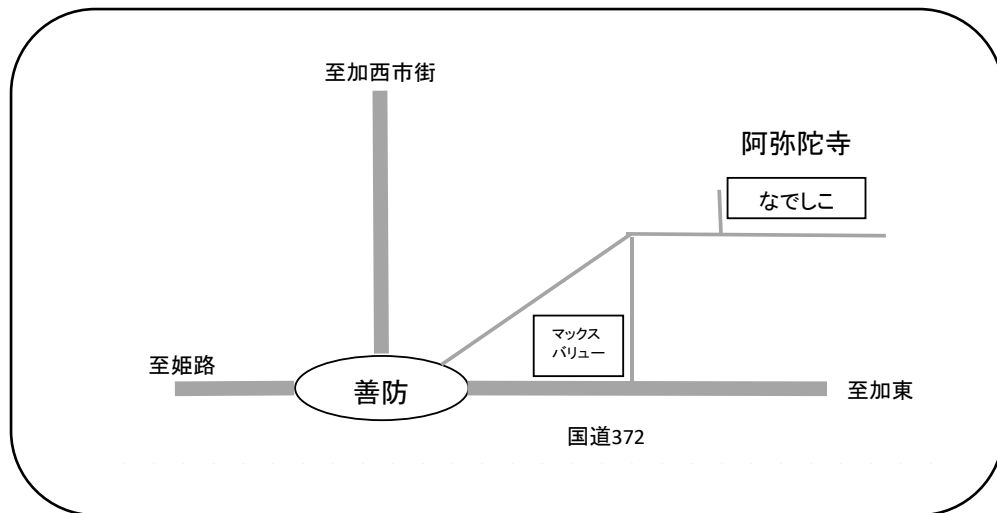
『うすく濃く、色染め分けてさまざまに
咲き誇りけり園のなでしこ』(加東市妙仙寺 金岡俊隣)

この和歌の作者「金岡俊隣」は、社会福祉法人・無量会のルーツとなる人物です。俊隣は江戸時代末期から明治・大正を生き、博学偉才の禅僧で、その教えを受けたものは優に1,000人を超える学者でもありました。俊隣は「個に即した教育」を理念に、個を尊び、人権を尊重する教育を行いました。この施設が、先覚者俊隣の精神を受け継ぎ、個々に即して人を生かす場でありたいと願い「なでしこ」と名付けました。

～社会性を持った「ひとりの人間」として育つために～
「なでしこ」では遊ぶ時は思いっきり「子供らしく」、話を聞く時は社会性を持った「ひとりの人間」として、“あそぶ、ことが自然に”まなびに、になるように、療育を実践していきます。



地図



社会福祉法人 無量会

障害児通所支援事業所

「なでしこ」



社会福祉法人 無量会
指定障害児通所支援事業所
「なでしこ」

〒675-2213 兵庫県加西市西笠原町 798

TEL (0790)21-9004 fax (0790)21-9044

e-mail nadesiko@zenbo-kids.com

(法人内に幼保連携 善防こども園を併設)

TEL (0790)48-3765 fax (0790)48-4354